

【ふりかえり会議対象事業名】 チャレンジド自立支援事業
 【事業担当セクション名】 志摩サイバーベースプロジェクト
 【ふりかえり会議実施日時】 平成17年3月22日 午後7時
 【ふりかえり会議実施場所】 アスト津

記入者名	山野保巳	朝倉美由紀
所属	志摩サイバーベースプロジェクト	eふぉーらむ
中間期		
I 協働の前提		
1. 地域の将来像と事業とのマッチング	はい	はい
<ビジョン>	さまざまな障害を持つ人びとが、それぞれの持つ到達目標に向けてeふぉーらむが支援活動を行い、最終的に個々にあった仕事をしていくことの実現を目指しています。	働くことに対する障害者の可能性をのばし、雇用等を実現させることによって障害者が自立できる社会に近づくことができる。
2. 協働の形態	はい	はい
<現在の協働の形態>	会費として300万円の負担をするとともに、県職員がプロジェクトリーダーとして組織の運営に関わり、事務所は志摩サイバーベースプロジェクトの分室として位置づけたアスト津11階の一室を間借りしています。 Eふぉーらむが在宅支援事業を実施するための支援策として、県は「障害者SOHO支援事業」を立ち上げ、障害者の能力開発を目的としたWEB作成などの業務発注を行いました。	委託（サポート事業）・助成（会費）・人（職員）
3. 対等な関係	いいえ	はい
3-①役割と責任		
3-②コミュニケーションと合意形成	いいえ	はい
3-③意思決定と指示系統	いいえ	はい
I 協働の前提で「はい」と答えた数	2	5
II 事業		
1. 事業の目的	はい	はい
<事業の目的>	eふぉーらむを平成14年度から平成16年度までの時限プロジェクトとし、その間に障害のある人が、ITを積極的に活用して「参加と自立」を達成していくための「自立支援マネジメントシステム」を創り上げる。（eふぉーらむマスタープランから）	ITを使った障害者の自立支援。とりわけ就労の機会を情報や実際の在宅ワークで提供することによって訓練を図り、雇用につながる支援をしていく。これらの支援の流れを「自立マネジメントシステム」として構築する。
2. 事業の成果	はい	はい
<事業の成果目標>	障害者自立支援マネジメントシステムの確立と、それに伴う一般、在宅雇用とSOHOの実現。	自立支援マネジメントシステムの構築
3. 成果の帰属	はい	はい
<具体的成果(物)>	障害者（チャレンジド）が自ら働き、収入を得ることで、在宅終了・雇用等につなげること。	自立支援マネジメントシステム
<帰属>	eふぉーらむ	eふぉーらむ※ただし課題が多く未完成の状態である。
4. 事業の完了時期	はい	はい
5. 事業後の展望	はい	はい
<事業後の展望・方向性>	チャレンジドと雇用する側の両方及びそれを取り巻く関係者の関心が十分高まることを一定の成果と位置づけ、達成できた時点で法人化し、自立する。	社会的に必要な事業としてとらえていただけるなら、今後もっと真剣に討議の場を設けていく必要がある。
II 事業で「はい」と答えた数	5	6
III 事業実施体制		
1. 業務分担	いいえ	はい
2. 費用分担	はい	はい
3. 情報共有	いいえ	はい
4. 問題発生時の体制	いいえ	はい
5. スケジュール管理と進捗確認	いいえ	はい
III 事業実施体制で「はい」と答えた数	1	6
中間期で「はい」と答えた数の合	8	15

記入者名	山野保巳	朝倉美由紀
所属	志摩サイバーベースプロジェクト	eふおーらむ

完了期		
I 事業の結果		
1. 問題発生時の体制	はい	いいえ
2. クレームの吸い上げとフィードバック	いいえ	いいえ
3. 事業実施後の振り返り	はい	いいえ
<結果>	平成17年2月4日にeふおーらむ関係者と地域振興部及び生活部との意見交換を行いました。その時点で、中間の意見交換が無く、お互いの意志疎通に欠けていたという共通認識から3月16日にeふおーらむのリーダー、スタッフと地域振興部担当との意見交換を行いました。	資源は最大限に活用できたが、取り組み内容、成果などについての意見交換はできていなかった。
4. 成果の達成	いいえ	いいえ
<成果>	ITサポートや在宅終了支援に取り組んできたことで、登録ワーカーやそれをサポートするスタッフの育成は成果をあげることができました。ただし、目標であった障害者自立支援マネジメントシステムの確立とそれに伴う一般、在宅雇用とSOHOの実現については、雇用側である企業や障害者をとりまく状況が未成熟のため、目標としていたレベルに達しません。	目標である自立マネジメントシステム構築がまだ未完成であり、そのためにクリアすべき問題が明らかになった。
5. 事業の将来展望	はい	いいえ
<課題解決のための改善提案>	県は、平成17年度も継続して支援を行うとともにeふおーらむも自立に向けた体制の見直しを図り、これまで欠けていた対話を重ねながら、障害者の就労支援についてお互いの在り方を検討していきます。	本当の意味での就労支援にはまだまだたどり着いておらず、これまでの活動を通して見えてきた課題を解決していく必要がある。行政関与は机上のみで終わることなく、ぜひとも現場に入って共に動いてほしい。その中でお互いの役割を認識し成果につながる前向きな活動を続けていきたい。
I 事業の結果で「はい」と答えた数	3	0
II 事業の成果		
1. 事業後の受益者とのコミュニケーションと満足度	いいえ	はい
<受益者の満足の声>	別添資料をご参照ください。	障害者ワーカーからの意見は常に聴く機会があり、事業についての満足度は高いという評価が出ている。関係づくりも良好といえる。
2. 事業後の資源提供者とのコミュニケーションと満足度	いいえ	はい
<資源提供者の満足の声>	別添資料をご参照ください。	情報の提供については行ってはいたが、結果に十分な満足を得られたとは考えにくい。また今後の事業につながる良好な関係づくりについても不安要素がある。
3. 人々の自立性の向上	はい	?
4. 新たなネットワーク	はい	はい
5. 地域や社会に与えたインパクト	はい	はい
<事業が地域や社会に与えた影響>	別添資料をご参照ください。	障害者の在宅就労という新しい働き方の可能性を求めるこの取り組みは、全国的においても先進事例として評価をされている。国の研究会、他自治体への情報提供を行うなど与えたインパクトは大きいと考えている。
II 事業の成果で「はい」と答えた数	3	3
III 実施の結果		
1. 協働意識の醸成	はい	いいえ
2. 協働の満足度	はい	はい
3. 協働のコストの分担	いいえ	いいえ
<生じた負担感>	1人の県職員に担当業務を任せてしまい、組織として支援する体制が取れませんでした。	やはりマンパワー的に不足する点が多かった。障害者のフォローに対して、予想できない状況が発生する機会も多かった。
4. 今後の協働の改善	はい	はい
<改善ポイント>	担当者の関与のしかたを見直すとともに、支援業務の内容についてもeふおーらむとの協議することとしています。	事業の本質となる価値観を共有し、役割分担を明確にすること。
5. 結果の公開と説明責任	はい	はい
III 実施の結果で「はい」と答えた数	4	3
完了期で「はい」と答えた数の合	10	6

事業概要

平成17年3月11日記入

基本事業名
情報化を支える人づくり事業
ふりかえり会議対象事業名
チャレンジド自立支援事業（eふおーらむ）
担当部署名
地域振興部志摩サイバーベースプロジェクト
担当者名及び連絡先：電話番号（市外局番からお願いします）
地域振興部志摩サイバーベースプロジェクト 山野保巳 TEL 059-224-2797
予算額
5,369千円（平成16年度当初予算）
事業概要
障害者（チャレンジド）のITのスキルアップや在宅就労を促進するため、企業、NPO、団体、個人、行政が連携した支援組織の会員として参画するとともに、組織の活動を円滑にするためサテライトオフィスを運営します。

この事業概要は、毎年提出された協働事業リストと同一の内容を記載しています。もし変更点等があれば記入してください。

資料：eふおーらむ活動実績

1. eふおーらむの運営体制

(1) 役員

担当	氏名	所属
プロジェクトマネージャー	村田幸子 (平成15年6月～) ※清原慶子 (～平成15年5月)	ジャーナリスト ※当時、東京工科大学
プロジェクトリーダー	岡本 悟	三重県地域振興部
リーダー	鉄本秀夫	(株) 富士通中部システムズ
リーダー	別所正章	三重テレビ (株)
リーダー	中西洋司	イオン (株)
リーダー	谷井 亨 (～平成15年5月)	(株) インテグラル
プロジェクトアドバイザー	竹中ナミ	(社福) プロップ・ステーション
監事	酒谷宜幸	公認会計士

(2) 事務局

担当	氏名	適用
庶務・経理	朝倉美由紀	
サテライトオフィス総括	吉牟田寿美	津
サテライトオフィス総括	吉武恵子	よっかいち
サテライトオフィス総括	佐藤友子	よっかいち
在宅ワーク担当	板野和郎	
在宅ワーク担当	伊藤晶広	

(3) その他

区分	人数	適用
サテライトスタッフ	4名	緊急雇用対策事業
障害者在宅ワーカー	66名	県内在住
e-staff	15名	有償ボランティア
会員 (正会員)	83名	個人66、NPO6、企業9、行政1、団体1
会員 (賛助会員)	15名	個人9、企業5、団体1

(4) 活動拠点

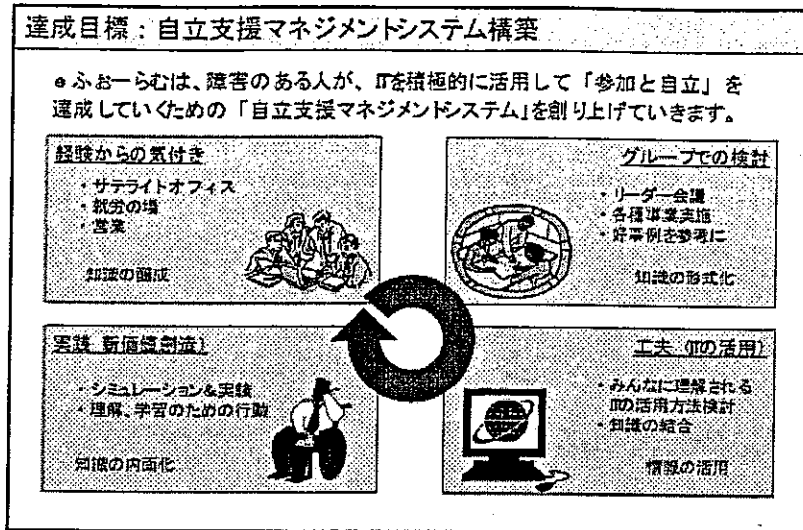
事務局 (津市羽所町700 アスト津)

サテライトオフィス津 (H15.2 設置) (津市羽所町700 アスト津)

サテライトオフィスよっかいち (H13.7 設置) (四日市市富洲原町2-40 ジャスコ四日市北店)

2. マスタープラン（14～16年度）

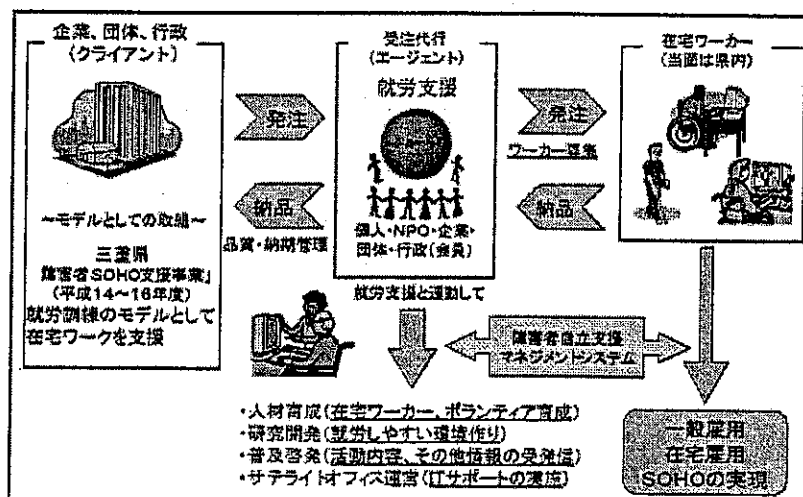
(1) プロジェクトの目標：自立支援マネジメントシステムの構築



自立支援マネジメントシステムとは、事業を通して当事者や支援者相互の「現場での気付き」の経験からノウハウを蓄積し、いろいろなアイデアや技術を持って新しい事業を展開していくことで、自立支援のモデル作りをしていくというものです。

(2) フェーズ1の具現化：在宅ワークの実現

このプロジェクトは2つのフェーズ（段階）からなります。フェーズ1の目標は、プロジェクト運営の基盤となる在宅ワークのしくみを確立することにあります。



(3) フェーズ2 (最終的な目標)：さまざまな働き方を支援できるしくみ

在宅ワークの実績を積み重ねていくことで、障害者の意識を変え、企業や行政をはじめとした雇用主の意識を変え、能力開発から就労・雇用へとつなげるしくみづくりあげていくことを目指しました。

3. 活動報告（14～16年度）

（1）就労支援（在宅就労）

eふぉーらむは、県や民間からIT関連業務を受注代行し、作業を希望する在宅ワーカーに提供するとともに、技術サポートなどのOJTを通して個人のさまざまなスキル向上に努めてきました。

在宅就労を開始する際、プロジェクトの期間が短いこともあり、登録ワーカーの能力開発を行っている時間はなく、いきなり仕事を目の前に突きつける手法をとることになりました。

とは言うものの、いきなり民間受注が望める状況でも無いため、三重県が能力開発を目的に優先的に業務発注を行う「障害者 SOHO 支援事業」を立ち上げ、まずはそれを柱に進めることとなりました。

>>在宅ワーカー

平成14年11月から在宅就労を希望する障害者の募集を開始しました。

在宅ワーカーの登録要件は、県内在住の方に限ることと、メールアドレスを持っていること以外の制限は設けず、障害者手帳の有無も問わないかたちで、すべて自己申告に任せました。

事前のスキルチェックやテストなども行っていません。ただし、登録方法はウェブ以外に設けず、フォーム上の質問項目に回答いただくことによって、自己表現能力や最低限のタイピング能力があるかどうかをチェックしました。

>>在宅ワークの手順

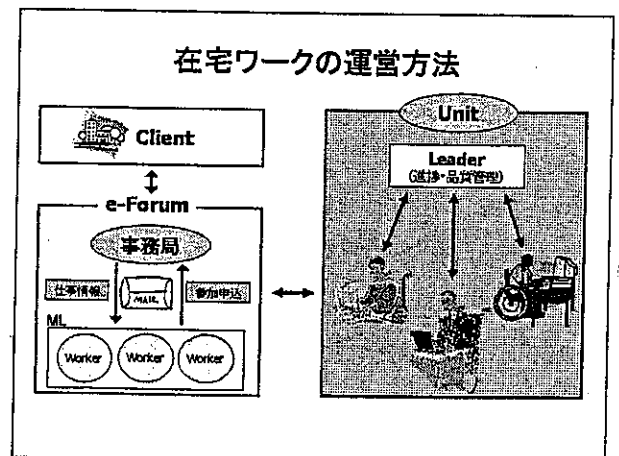
受注した仕事をワーカーに提供する際、次のような手順で行います。

事務局から、ワーカー全員が登録されているML（メーリングリスト）に受注NO、受注業務の内容、作業期間、募集人数、報酬などの情報を送信します。

希望するワーカーから事務局あてに参加希望メールが届きます。

参加者によるプロジェクトを構築します。受注NO単独のMLを作成し、資料送付参加者間での進捗管理、情報交換を行います。

チェック完了後、事務局を経由してクライアントに納品します。



>>実績

受注件数：71件*

受注金額：27,488千円*

従事ワーカー：延べ213人*

(*受注データ詳細は別添資料1、担当ワーカーの業務報告資料は別添資料2)

(2) 雇用支援

登録ワーカーのうち、現在のところ雇用に至ったワーカーは5名。ただし、自主的に就職活動を行って雇用に至ったワーカーが4名、実際にeふおーらむを通じて雇用に至ったワーカーは1名です。これまで、雇用主から4件の雇用相談があり、計4名のワーカーが面接等を受けましたが、雇用に至ったワーカーは1名です。

(3) 人材育成

>>サテライトオフィスにおけるITサポート

障害者のITスキルをメインにした技術サポートの取り組みは、津と四日市の2つのサテライトオフィスで実施しました。電話やメールによる質疑応答、個人のスケジュールに合わせたサポート、集合講習の計画的実施などの活動を行いました。

(サテライトオフィスでのサポート件数：17年1月末現在)

区分	サポート内容	サポート件数 (延べ)
津	中級、上級者、在宅ワーカー向けのサポートがメイン 定期講習の実施 (有料) * 養護学校の就労体験受け入れ	2,984件
よっかいち	初心者向けのサポートがメイン 個別学習のサポート 養護学校の就労体験受け入れ	5,920件

(*講習会実施状況は別添資料3のとおり)

(4) 普及啓発・調査研究事業

ひとりでも多くの方に、障害者の就労に対する理解を深めていただくため、取り組みについての広報活動を幅広く展開してきました。

>>ウェブサイトの運営

eふおーらむのウェブサイトは15年7月と16年1月にリニューアルを行いました。

在宅ワークにおいて、ウェブサイト制作業務は非常に重要な位置を占めています。eふおーらむは、取組みの趣旨からもユーザビリティとアクセシビリティに配慮したウェブサイト制作を主眼に置き、ワーカーへのサポートを続けていますが、その見本となるべく、eふおーらむのウェブサイトをアクセシブル・ウェブとしました。(XHTML1.1とCSS2で構成)

また、本サイトに、eふおーらむ独自のウェブ・ユーザビリティガイドラインも示しました。

※アクセス数 (□はページビュー)

期間	総アクセス数[ページビュー]	1月あたりアクセス数
15年4～6月	計9,002 [73,679]	3,000
15年7～12月	計18,858 [148,726]	3,143
16年1～3月	計19,249 [106,359]	6,416
16年4～17年1月	計52,791 [229,719]	5,279

>>国の研究会での発表

厚生労働省「障害者の在宅就業に関する研究会」先進事例として発表（平成15年7月）

>>3県連絡会（愛知・岐阜・三重）の発足

平成15年12月、愛知の名古屋市総合リハビリテーションセンターが発起人となって、愛知の障害者就労支援NPO「電気仕掛けの仕事人」、岐阜のNPO「バーチャルメディア工房」、三重のeふおーらむで3県連絡会を発足しました。

>>啓発イベント「e-FORUM2003」「e-FORUM2004」開催

これまでのeふおーらむの活動や、全国各地の先進事例の紹介、在宅ワーカーからの実績紹介等のプレゼンテーションを行うイベントを開催しました。

「e-FORUM2003」（参加者数：25名）

日時 平成15年5月25日（日）14時30分～16時

場所 三重県津庁舎大会議室

講演 「チャレンジドが誇りを持って働ける社会をめざして」

講師 竹中ナミ（社会福祉法人プロップ・ステーション理事長）

「e-FORUM2004」（参加者数：195名）

日時 平成16年3月1日（月）・2日（火）

場所 アスト津アストホール

内容 ◎講演「当事者が創り出す情報のユニバーサルデザイン」

ユーディット代表取締役 関根千佳

◎講演「障害のある人を技術で支援するということ」

星城大学リハビリテーション学部教授 昌山卓朗

◎パネルディスカッション「誰もが自分の意思で生活できる社会へ」

コーディネーター eふおーらむ 村田幸子

パネリスト ユーディット代表取締役 関根千佳

〃 （社福）東京コロニー 職能開発課課長 堀込真理子

〃 NPO法人練馬ばそぼらん 副理事長 関和子

〃 eふおーらむ 岡本悟

◎在宅ワーカーたちからのプレゼンタイム（5名）

◎講演「チャレンジドが誇りを持てる社会へ」

（社福）プロップステーション理事長 竹中ナミ

◎ブース展示（2日間：4社）

（有）ウェルテック、日本電気（株）三重支店

かがわユニバーサルデザイン研究会、（株）ボイスリンク

◎ジョイントセール（授産施設製品の展示販売：すずかのぶどう）

>>ATACカンファレンス2004

プロジェクトの取り組み内容や成果を、障害者の支援技術(AT)を研修するイベントである ATACカンファレンス2004 (平成16年12月:京都) で発表しました。

>>その他

その他、新聞、ネット記事、テレビ、雑誌等で取り組みが多数取り上げられました。

4. 取り組みの検証(14~16年度)

(1) 取り組みの成果

>>在宅ワーカーの意識向上

在宅ワーカーには、就労の経験が全く無い人たちも多く登録されました。

そのような人たちの多くは、自分が仕事に関わってうまく出来るかどうか非常に不安です。

そのため、なかなか積極的に参加できないことが多かったのですが、ワーカーに応じて仕事の量を調整したり、役割分担を考慮したりなど、まずは出来る範囲から関わることが重要であるとの認識から、少しでも不安を取り除くことに配慮しました。

結果、仕事に関わったすべてのワーカーが、自分が仕事のなかで役に立ったと感じ、その対価として報酬を受け取ったことで、次は1時間でも長く、1件でも多く仕事を引き受けたいと意欲を出すようになりました。

さらに、このような経験を積み重ねていくうちに、より報酬の高い仕事を請けるための技術を身につけたいという向上心を持つことにもなりました。

私たちは、そのような人たちに対して、実際の在宅ワークの中でOJTとしてフォローしたり、サテライトオフィスにおけるサポートやスキルアップ講習を実施するなどの支援を行ってきました。

また、移動や時間の制限を受ける重度の障害を持つワーカーにとっても、インターネットを媒体に在宅というかたちで仕事ができることが、働くことを諦めていた気持ちを揺り起こすきっかけとなりました。このことは、障害のため、働くことを諦めるしかないと感じている多くの方々に対して与える影響も計り知れないと感じています。

>>他自治体に与える効果

障害者の在宅就労を支援する取り組みは、すでに全国でもいくつか展開されています。

しかし、それらは社会福祉法人やNPOが行っているものばかりで、行政が主導で取り組むことになった三重の取り組みは、他の自治体に与える影響は非常に大きいものでありました。

実際に、三重の取り組みに引き続いて、熊本県が在宅就労支援に取り組み、その流れが岩手県、仙台市、札幌市などに起こっています。

この流れは、より多くの自治体に波及していくものと確信しています。

(2) 取り組みの課題

私たちの活動は、一応の成果を得ることは出来たと考えていますが、障害者の就労を促進していくための核心部分にたどり着いてはおらず、現状として、本プロジェクトを開始する時点と比較し、解決しなければならない課題がさらに増えていることを認識しています。

それらについては以下に記述しますが、逆に、これらの課題は2年半余りの活動があつてこそわかり得た課題であると確信していますし、このような課題をクリアしていかなければ、障害者の就労を促進していくことは困難であり、そのことは、つまり私たちの活動基盤もつくることのできないことを意味するものです。

>>柔軟性のある能力開発のしくみ（真のニーズを知る）

障害者はもちろん、雇用主やクライアントの立場としての企業などの真のニーズを知ることがとても重要です。たとえば該当する業務内容が、障害の部位や程度から考慮しても非常に負荷がかかる業務だと認識していながら、本人が希望しているし、経験を積むことも重要だからという認識で無理をさせるようなことは、これまでの活動実績も踏まえ、決していい効果を及ぼすことはないと言えます。ワーカーと相談のうえ、障害特性に合った業務を見極め、効率の良い能力開発を計画していくことは何よりも重要なことです。

また、根本的なこととして、企業が発注したい仕事、障害者に任せたい仕事についてのニーズを把握することが、個人の能力開発を効果的に進めることは言うまでもありません。

障害者の雇用や就労を促進するためには、障害者と雇用主という当事者の真のニーズを知ること、そういったニーズをお互いが認識できるように調整ができるしくみが必要です。

>>柔軟性のある能力開発のしくみ（個人に応じた能力開発）

これまで、個人の能力開発については、在宅就労の場、あるいは集合講習、電話や電子メールでの質疑応答などで行ってききましたが、それだけの手段では限界を感じる状況に陥りました。

障害が重く集合講習に出られない人、講習に出たくても介助者の都合がつかない人など、これらの人々にとって、ITは生活を支える重要なツールであるにもかかわらず、スキルアップの機会さえ満足に得ることができないことが、状況を把握しながらも十分な対応が出来ない私たち自身が歯痒さを感じる結果になりました。

このようなさまざまなバリアを抱えている人ほど、ITの恩恵を受けるべきであり、このような人々それぞれに対応した能力開発の場としくみを早急に準備する必要があります。

個人の努力により雇用や就労が実現することは当然ですが、その前提として誰もが等しく努力できる環境を構築することが、今後、就労支援団体としての課題であり義務であると考えます。

>>柔軟性のある能力開発のしくみ（サポートを行う人材の育成）

障害者が日常生活を送るなかには、必ずそれを支えるキーマンが存在します。

それは親であったり、理学療法士や作業療法士などの医療分野のスタッフであったり、ヘルパーなどの介助者であったりと、いろんな場合があります。

特に在宅就労の場合は、ネットワーク上での作業であるため、そのワーカーがどのような環境で仕事をしているかなど、私たちが細部まで把握することが困難です。

たとえば、ある障害者が、健常者がコンピュータを使う環境と同じ状態で使用していた場合など、非常に障害に負荷がかかる状態、あるいは体勢で無理して仕事をしていた場合などは、二次障害を引き起こす危険性もあります。

そのため、出来る限り「現場」に近く、障害者の日常を良く知るキーマンを通して一緒にサポートを行うことが必要となります。

私たちは、このようなキーマンに対してのITサポートを行うことも視野に入れたり、あるいはキーマンと一緒に能力開発のサポートが行える人材を育成する方法も必要であると考えてべきです。

>>柔軟性のある能力開発のしくみ（障害特性を生かした就労環境の創出）

障害者が就労することに対する一般社会の感覚は、健常者と比較して「遅い」「職務適応範囲が狭い」「対応が難しい」などが大部分を占めています。このような状況では、障害者の就労は進む余地は今のところありません。

障害者には、障害があるが故に、健常者にはない特性や能力があると私たちは考えています。

そういった個々の特性を生かせる可能性を見出すことが、私たちの活動を支える非常に重要なことであると考えます。

たとえば、平成15年度末に三重県から受注した、ウェブサイトのユーザビリティチェックの仕事などは最たる例です。近年、ウェブサイトが誰にでも使えるものでなければならない、アクセスできるものでなければならないという流れが起きています。

特に、アメリカの流れを受け、平成16年6月にはJIS（日本工業規格）のJIS X 8341-3（高齢者・障害者等配慮設計指針—情報通信における機器、ソフトウェア及びサービス—第3部：ウェブコンテンツ）の指針が制定されました。

このことを受けて、官公庁や公のサービスを行う機関等のウェブサイトについては、誰もがアクセスできるアクセシブルウェブにしなければならないという方向性が明確になっています。

今回受注したチェック作業についても、eふおーらむ独自のガイドラインによるチェックのほかに、実際の肢体不自由や視覚障害の在宅ワーカーが操作することによるチェック（ユーザテスト）を行った結果も踏まえて提出しています。

こうした、障害特性を生かした仕事を見つけていくこと、創出していくことが今後の大きな課題でもあると感じています。

平成14年度実績

ワークNO	項目	受注先	内容	従事ワーカー(人)
1	DB作成・データ入力	三重県	みえの住まいの人財バンクDB作成・入力	2
2	ウェブサイト制作	三重県	「バリアフリー社会づくり」PR用HP作成	1
3	PDF作成・データ入力	三重県	平成10年事務事業目的評価表のPDF化および表計算ファイルへのデータ入力	4
4	ウェブサイト制作	三重県	職員申請用「福利のしおり」のHP作成	4
5	文書作成	三重県	職員申請用「福利のしおり」の申請文書の作成(EXCEL)	5
6	データ入力	三重県	野生生物分布状況データの表計算ファイルデータ入力(EXCEL)	9
7	データ入力	三重県	公共・公益建築物の耐震診断および耐震改修状況調査データベースファイルへのデータ入力(ACCESS)	2
8	DB作成	三重県	単位制県立高等学校(独立定時制)の生徒預かり金の会計システム開発(ACCESS)	1
9	ウェブサイト制作	三重県	ハンセン病に関するホームページ	1
10	CD作成	民間	防災ボランティアコーディネーター養成講座報告用CD作成	2
				10件
				31

平成15年度実績

ワークNO	項目	受注先	内容	従事ワーカー(人)
11	ウェブサイト制作	三重県	志摩サイバーベースプロジェクトHPリニューアルと推進計画ページ作成	3
12	データ入力	三重県	全国俳句募集における県外応募者のデータ入力作業	15
13	ウェブサイト制作	三重県	三重県健康福祉部「健康福祉行政概要」ページ作成	3
14	データ入力	三重県	三重県地域振興部地震対策チーム「耐震診断・耐震改修状況調査表手書きデータ入力」(Access)	5
15	データ入力・メッシュマップ	三重県	三重県環境部「野生生物分布」データ入力業務	13
16	テープおこし	三重県	三重県健康福祉部「バリアフリーのまちづくり推進協議会」議事録作成	1
17	ウェブサイト制作	三重県	三重県農林水産商工部「食の安全・安心情報提供事業」ページ作成	4
18	CADトレース	民間	電気・計測機器類図面トレース作業	2
19	テープおこし	三重県	三重県人権センター県民啓発事業(講演)テープおこし	3
20	データ入力・集計・分析	三重県	三重県健康福祉部准看護師アンケート発送・集計	11
21	データ入力	民間	電気・計測機器データ入力	4
22	テープおこし	民間	議事録データのデジタル化	2
23	DB作成	三重県	工業統計データ管理システム(DB)作成	2
24	ウェブCD作成	行政(その他)	読書感想文記念CD作成	5
25	ウェブサイト制作	三重県	食の安全リーディング創出事業HP作成	1
26	テープおこし	三重県	議事録データのデジタル化	1
27	ウェブサイト制作	三重県	青少年の居場所づくり事業HP作成	1
28	テープおこし	三重県	議事録データのデジタル化	1
29	ウェブサイト制作	三重県	健康福祉部「食品衛生何でも相談」	7
30	データ入力	民間	愛知万博ボランティアデータ登録作業	3
31	アンケート集計	三重県	地域振興部アンケートデータ入力	1
32	テープおこし	三重県	議事録のテープおこし	1
33	ウェブサイト制作	三重県	三重県農林水産商工部「食の安全・安心情報提供事業」ページ作成	3

ワークNO	項目		内容	従事ワーカー(人)
34	テープおこし	三重県	講演会・シンポジウムデータのデジタル化	1
35	データ入力	三重県	市民活動団体データ集計編集作業	1
36	テープおこし	三重県	講演会のテープおこし	1
37	文書作成	民間	イベント関連データの文書化	2
				27件
				97

平成16年度実績

ワークNO	項目	受注先	内容	従事ワーカー(人)
38	ウェブユーザビリティ調査	三重県	おしごと三重サイトのユーザビリティ調査	4
39	データ修正	民間	数値集計データのグラフ化	2
40	データCD作成	民間	大学関連の研究データベースCDの作成	2
41	データCD作成	民間	防災ボランティア関連活動報告CDの作成	2
42	ウェブサイト制作	民間	団体の公式サイト制作	1
43	ウェブサイト制作	民間	団体の公式サイト制作	キャンセル
44	ウェブサイト制作	三重県	おしごと三重ウェブサイト更新作業	2
45	PDF作成・データ入力	三重県	就学指導の手引き CD作成業務	1
46	テープおこし	三重県	森林資源循環活用フォーラムテープおこし	1
47	ウェブサイト制作	三重県	2004年度県政報告書ホームページ作成業務	1
48	データ入力	三重県	野生生物分布データ入力業務	10
49	テープおこし	三重県	廃棄物処理施設審議会のテープおこし	1
50	ウェブサイト制作	三重県	健康福祉行政概要ホームページ作成業務	2
51	DB作成	三重県	16年度工業統計調査県独自集計システム機能追加業務	1
52	CADトレース	民間	建築図面のトレース	1
53	ウェブサイト制作	三重県	青少年居場所づくり事業サイトの追加及び更新作業	1
54	テープおこし	三重県	住民説明会及びシンポジウムのテープおこし	2
55	CADトレース	民間	建築図面のトレース	1
56	CADトレース	民間	建築図面のトレース	1
57	テープおこし	三重県	講演会テープおこし	3
58	民生委員委嘱状等作成	三重県	民生委員委嘱状等作成	1
59	テープおこし	民間	人権講演会のテープおこし	4
60	ウェブCD作成	行政(その他)	読書感想文CDの作成	5
61	テープおこし	民間	県民啓発講座のテープおこし	3
62	ウェブサイト制作	三重県	非行防止地域ネットワーク推進事業に関するウェブ制作	1
63	ウェブサイト制作	三重県	食の安全・安心情報提供事業ウェブ更新	4
64	ウェブサイト制作	三重県	おしごと三重ウェブサイトリニューアル※金額未確定(受注済み更新作業の上乗せの)	5
65	データ入力	民間	人権アンケートデータ入力	4
66	データ入力	民間	イベントアンケートデータ入力	1
67	テープおこし	民間	公開講座のテープおこし	2
68	データ入力	民間	イベントアンケートデータ入力	2

	項目	受注先	内容	従事ワーカー(人)
69	データ入力	民間	イベントアンケートデータ入力	3
70	文書作成	民間	部落史論文デジタル化	7
71	データ入力・集計・分析	三重県	調査アンケートデータ入力及び集計作業	3
72	テープおこし	民間	人権フォーラムのテープおこし	1
			34件(2005/1末現在)	85

71件

213

ワークの業務別による反省・意見(集約)

データ入力

- ・ 入力例マニュアルなどを添付ファイルで見本提示をしてもらえればより明確に理解できると思った。
- ・ フォーマットされたファイルが作ってあるのは作業がしやすい。
- ・ 質問や回答を Web 上で閲覧できるようにしてもらったのはよかったが、それが最初だけだったのが残念だった。
- ・ 入力用フォームと原稿が同じ項目順番でなく入力しづらかった。
- ・ 手書きデータは判読しにくいものが多かった。
- ・ 「ハガキに忠実に」という指示にどこまで従うか迷った。
- ・ 入力フォームが複雑で時間がかかった。見た目と違うフォームは入力しづらい。
- ・ 資料が届くまでの間に前回の例を添付で送ってもらいイメージをつかむことができた。
- ・ 圧縮解凍について知識のないワーカーがいるので、最初に説明が必要と思った。

ウェブサイト制作

- ・ クライアントからの要望事項は明確な文書(メール)でもらいたい。
- ・ 事務局からのメール指示は文書形式が整っていると読みやすい。ex:HP上からフォームで質問できるものなど。
- ・ サーバーを利用して仕事のできたので時間のロスがなかった。
- ・ 最初の打合わせは事務所まで出向き面談して細かい指示を受けたほうがやりやすいと思った。
- ・ アクセシビリティの基本が理解できていなかった。
- ・ 制作上の伝えたいことを文書にすることは難しい。
- ・ 募集の時点でどの程度の技術が必要か知らせてほしい。
- ・ スキルアップの必要性を痛感した。
- ・ 最終的に事務局でフォローしてくれるという甘えの気持ちがあった。
- ・ FTPが使えずファイル転送で困った。
- ・ eふおーらむのガイドラインを参考に具体的なサンプルを勉強したい。

DB作成

- ・ クライアントと何度も打合せをすることで、要望を理解することができた。

テープおこし

- ・ 専門用語が多かったので、会議資料などを事前にもらえたら内容を把握できて、漢字変換も少なくなると思った。
- ・ テープの録音状態についての情報もあらかじめほしい。
- ・ 途中から資料を送付してもらえるようになったので、作業効率があがり正確におこすことができた。

ワーク以外に関する反省・意見

〈リーダーとのやりとり〉

- ・ リーダーとの打合わせの会話で、自分の言語障害のために意思疎通がうまくいかず困った。
- ・ 指示がメールだけでは理解しにくい部分があり、きちんとした文書でのマニュアルが必要ではないかと思った。
- ・ 電話での確認作業は安心できてよかったが途中で指示が変わった点があり迷った。
- ・ 即対応してくれたので安心できた。
- ・ クライアントの要望をリーダーがまとめてくれるとよかった。

〈ML関連〉

- ・ 件名が同じで後で見直すのに不便であった。
- ・ 機種依存文字が使われていて、文字化けして判読が大変だった。
- ・ 過去ログを閲覧出来るようにしてほしい。
- ・ MLのルール(マナー)を作してほしい。
- ・ 仕事とプライベートの区別をつけて余分なことは記入しないようにしてほしい。

〈リーダーを経験して〉

- ・ ワーカーだけで仕事をするのとリーダーを兼ねるのでは、数倍の苦労があったが大変よい経験となった。
- ・ 自分がわかってもそれを相手に文章で伝えるのはとても難しく感じた。
- ・ グループ内のワーカーのスキルを把握しきれず任せてしまったので、しわ寄せが事務局に行く結果となってしまった。
- ・ リーダーとしての技術アドバイスがうまく出来なかったことがあった。

サテライトオフィス講習実績

平成14年度	人数	場所
IT基礎講習(11~12月)	28	よっかいち
Word講習(3月)	8	よっかいち
14年度計	36	

平成15年度	人数	場所
HP作成講座(9月)	5	津
Access基礎・応用講習(1月)	10	津
15年度計	15	

平成16年度(17.1.31まで)	人数	場所
Access基礎Version2002	5	津
Excel実践1Version2002	5	津
Excel実践2	7	津
HTML講座基礎	9	津
IllustratorCS	1	津
PowerPoint Version2002	0	津
Webユーザビリティ	4	津
Wordの実践Version2002	6	津
コミュニケーションスキル	1	津
テープおこし	8	津
ホームページビルダー基礎Version8	0	津
英語でE-mail (入門~基礎編)	3	津
16年度計	49	

合計	100	
----	-----	--